

内装材や家具が
道具不要でわずか5分で木の間仕切り空間に

ジラーフユニット

■部材：L型・I型 各4本

■サイズ展開：スタンダード (大) 約2.1m×2.1m
ジラーフキッズ (小) 約1.2m×1.2m

二種類のみで組みあがった間仕切りは、発災時に目隠し布をかければ避難所ブースに。ベンチや内装材として日常の姿が仕上のため、倉庫等の保管場所は不要です。

全国自治体で「防災 × 林業」を楽しく展開可能です。

また、イベント展示什器やこども玩具、オフィス木質化等、日常に「木の領域」を広げます。

道具不要で直感的に組立可能なため、年齢差や言語の壁を超えて共同作業が自発的に行われるため、準備運営側等の設営エネルギーを抑えることができます。

木材100%の製品のため、全国の地域産板材での製造が可能です。「〇〇産ジラーフユニット」が展開できる体制を整え、木材利用に参画し木材の消費拡大を図ることができます。



■避難所でのプライバシーの確保



■内装材としての利用



■オフィスの木質化



「ベンチ」「内装材」がその場で「間仕切りフレーム」に展開できることは、素早い対応が求められる避難所や、多ブースへの対応が必要な催事、オフィスや子ども空間での木育において、非常に有効です。



■テーブルやベンチが間仕切りに変身。



スタンダードベンチ ×1
キッズベンチ ×2



■催事、マルシェ等での設営負担軽減

■加工の工夫点：反復製造と歩留まり

反復の製造は、デジタル加工とアナログ加工のお互い得意領域で明確に分けました。

すべて 600×2400 の一枚のマザーボードからデジタルでくり抜き、面取りや複雑な仕口・継手の加工も各 1 種類とし、職人の手で仕上げます。

歩留まりについては、L 型に沿わず形で I 型を配置しているため高歩留まりで無駄なく製造できます。



9mm という薄い大版幅はぎパネルは板材の乾燥収縮を乗り越えた熟練の技術を必要とします。

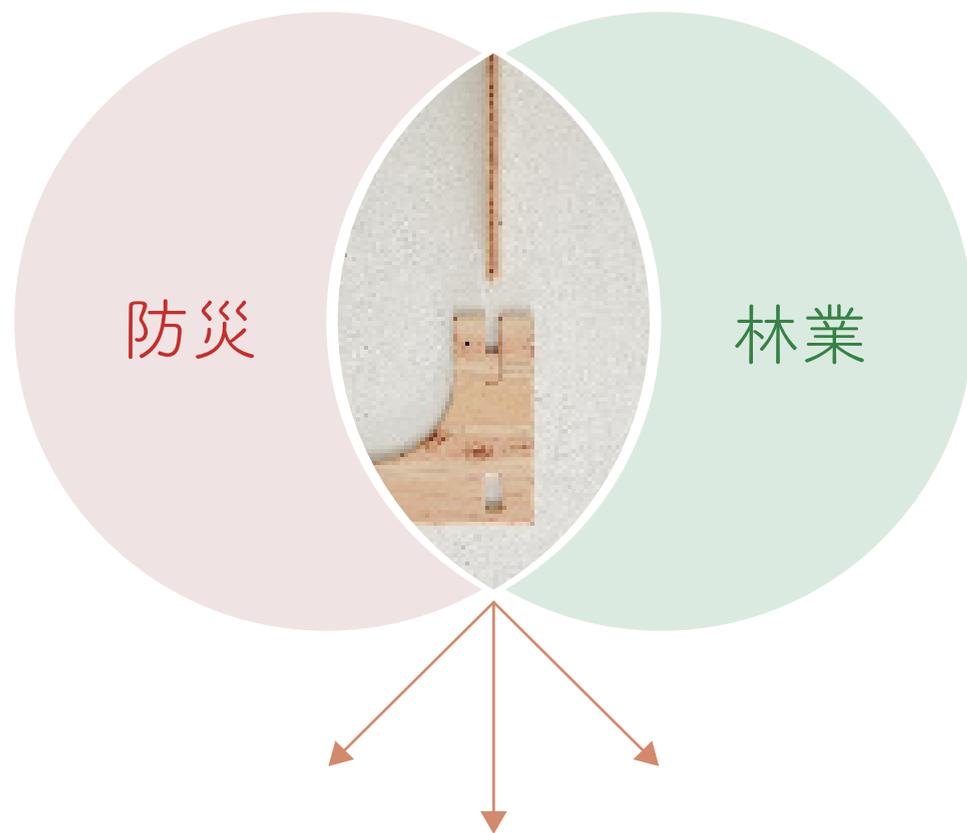
製造能力と耐久性の観点で高周波接着を基本とし、JAS 構造用合板との組み合わせについても接着強度・乾燥も様々試行を繰り返してきました。



■仕口加工は様々な段形状をつくり差し込みやすく、かつ多方向からの外力に抵抗し抜けづらい工夫としました。



■木の領域を増やししながら社会課題に向き合います。



木工加工業の活性化、伝統的な技術の継承や発展に、異業種事業者はイベント・展示ブースの木質化を容易に展開でき、企業CSRへの参画、多くの人々が木製品に触れる機会をつくります。

全国で地域産材の需要を個人から行政単位で取り組める。

- ・ 防災 × 林業
- ・ 防災認定品
- ・ 森林環境譲与税
- ・ ふるさと納税



いつどこで起きるかわからない大地震、未曾有の豪雨。そんな折、発災後の避難所生活での長期化は予想され、健康面・精神面において、プライバシーが確保される避難所ブースは必須の備えといえます。

当商品は、日頃は内装材や家具の為倉庫に入れておく必要もなければ、発災時はその場で展開できるため運んでくる必要もありません。

その分もっと別の防災品を備蓄し発災後の避難所づくりがすることができます。

また、それらを木造の仕口継手の技術を使い、道具無しで組立てることで、防災時だけでなく、催事の木製品を地場産材で使える木製品の普及拡大につながると考えました。

